

水稻の6月下旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 6月20、21日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信17ほ場、計32ほ場＞

1 葉いもち

東北信地域の巡回調査ほ場では、発病は確認されなかった。

2 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

(1) 東信地域の9ほ場で寄生が確認され、成虫、幼虫の平均確認頭数は平年と比べて多かったが、平均被害度は平年と比べて低かった。なお、卵発生地点率は高かった。

(2) 北信地域の1ほ場で寄生が確認され、成虫の平均確認頭数は平年と比べて多かったが、幼虫の寄生及び被害は確認されなかった。なお、卵発生地点率は高かった。



写真1 イネドロオイムシ成虫（産卵）（小海町）



写真2 イネドロオイムシ卵塊（上田市）

3 イネミズゾウムシ

(1) 東信地域の10ほ場で寄生が確認され、成虫の平均確認頭数は平年並であったが、平均被害度は平年と比べて低かった。

(2) 北信地域の12ほ場で寄生が確認され、成虫の平均確認頭数は平年並であったが、平均被害度は平年と比べて低かった。

4 斑点米カメムシ類（畦畔雑草）

(1) アカヒゲホソミドリカスミカメ

ア 東信地域の4ほ場で捕獲され、成虫の平均捕獲頭数は平年と比べてやや少なく、また成虫の平均発生地点率は平年と比べてやや低かった。なお、幼虫は捕獲されなかった。

イ 北信地域の14ほ場で捕獲され、成虫の平均捕獲頭数は平年並であったが、成虫の平均発生地点率は平年と比べて高かった。なお、幼虫は捕獲されなかった。

(2) トゲシラホシカメムシ（オオトゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシを含む）

ア 東信地域の1ほ場で捕獲され、成虫の平均捕獲頭数は平年と比べてやや少なく、また成虫の平均発生地点率は平年と比べてやや低かった。なお、幼虫は捕獲されなかった。

イ 北信地域の5ほ場で捕獲され、成虫の平均捕獲頭数は平年と比べて多く、また成虫の平均発生地点率は平年と比べて高かった。なお、幼虫は捕獲されなかった。

(3) アカヒメヘリカメムシ

ア 東信地域の巡回調査ほ場では、捕獲されなかった。

- イ 北信地域の1ほ場で捕獲され、成虫の平均捕獲頭数は平年並であり、また成虫の平均発生地点率は平年と比べて高かった。なお、幼虫は捕獲されなかった。
- (4) アカスジカスミカメ
東信地域及び北信地域の巡回調査ほ場では、成虫と幼虫は捕獲されなかった。
- 5 その他（畦畔雑草）
- (1) イナゴの幼虫は、東北信地域の23巡回調査ほ場で捕獲され、平均捕獲頭数は平年と比べて少なかったが、幼虫の平均発生地点率は平年並であった。
- (2) クサキリ類・ササキリ類の幼虫は、東北信地域の30巡回調査ほ場で捕獲され、平均捕獲頭数は平年と比べて少なかったが、幼虫の平均発生地点率は平年と比べて多かった。

【中南信】 調査日 6月19日、20日、22日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信18ほ場、中信20ほ場、計38ほ場＞

- 1 葉いもち
巡回調査ほ場では、発病は確認されなかった。
- 2 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）
- (1) 南信地域でのイネドロオイムシの発生は見られなかった。
- (2) 中信地域では塩尻市宗賀の巡回ほ場で寄生が確認された。成虫・幼虫・卵塊の平均確認頭数は平年と比べて多かった。



写真3 イネドロオイムシ幼虫（塩尻市）

- 3 斑点米カメムシ類（畦畔雑草）
- (1) トゲシラホシカメムシ類は、南信地域の1ほ場、中信地域の1ほ場で捕獲された。
- (2) ホソハリカメムシは、南信地域の1ほ場、中信地域の1ほ場で捕獲され、成虫、幼虫を合わせた平均捕獲頭数は、平年（過去8年間の平均値。以下同様）と比べて少なかった。
- (3) アカヒゲホソミドリカスミカメは、南信地域の4ほ場、中信地域の10ほ場で捕獲され、成虫、幼虫を合わせた平均捕獲頭数は、平年と比べて少なかった。
- (4) アカスジカスミカメは、南信地域の2ほ場、中信地域の5ほ場で捕獲され、成虫、幼虫を合わせた平均捕獲頭数は、平年と比べて南信地域では少なかったが、中信地域ではやや多かった。

4 その他（畦畔雑草）

- (1) イナゴの幼虫は、13 ほ場で捕獲され、平均捕獲頭数は平年と年に比べて少なかった。
- (2) クサキリ類・ササキリ類の幼虫は、29 ほ場で捕獲され、平均捕獲頭数は、平年と比べて少なかった。

問合せ先

担当（東北信）：藤沢

TEL:026(248)6471 Eメール: bojo@pref.nagano.lg.jp

担当（中南信）：内田

TEL:0263(53)5642 Eメール: bojo-y@pref.nagano.lg.jp